

企業における福利厚生施策の実態に関する調査〈従業員調査票〉

〈アンケート調査へのご協力のお願い〉

この調査は、厚生労働省所管の調査研究機関である 独立行政法人 労働政策研究・研修機構（HP：<http://www.jil.go.jp/>）が、厚生労働省労働基準局からの研究要請を受けて実施するものです。

本調査は、大きく変化する福利厚生を巡る環境の実態を把握することで、今後の勤労者の福利厚生にかかわる政策の立案・推進等に役立てるためのものです。ご多忙のところ誠に恐縮ですが、ご協力のほど何卒宜しくお願い申し上げます。

調査票は、民間信用調査機関が所有するデータベースから、無作為に抽出した企業を通じ、同社で働く皆さんに配布させていただき、ご回答へのご協力をお願いしています。

ご記入いただいた内容は、すべて統計的に処理され、研究目的のみに利用します。個々の回答がそのまま公表されることはなく、個人のお名前や企業名が特定されることも一切ございませんので、ありのままをご記入ください。

【調査票のご記入にあたって】

1. 特に断りのない場合、2017年10月末日現在の状況をご記入ください。
2. ご回答は、あてはまる番号に○印をつけていただくものと、枠内や（ ）にご記入いただくものがあります。なお、各問において特別に回答方法をお願いしている場合は、それに沿ってお答えください。
3. ご記入が終わりましたら、同封の返信用封筒（切手は不要）に入れ、2017年11月10日（金）までに、郵便ポストにご投函ください。
4. この調査票の配布・回収等の実査事務は、調査機関である株式会社x x x xに委託しています。ご不明な点をご照会内容に応じ、下記担当までお願い申し上げます。

○この調査についてのご照会先

【調査票の記入方法・締め切りなど実査について】

株式会社 XXXX （担当： ）
TEL： 、 FAX： 、 E-mail：
（お問合せ時間：平日10：00～12：00、13：30～17：00）

【調査票の内容・趣旨について】

独立行政法人 労働政策研究・研修機構 調査部 担当：吉田、郡司
TEL： 、 FAX：
（お問合せ時間：平日10：00～12：00、13：30～17：00）

I. あなたのプロフィールについて

問1：性別

1. 男性 2. 女性

問2：年齢

1. 20歳未満 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代 5. 50歳代 6. 60歳以上

問3：生計を共にしているご家族（別居している方を含む）（あてはまるものすべてに○）

1. 配偶者 2. 子ども 3. あなた又は配偶者の親 4. その他（ ） 5. なし（自分のみ）

↓
末子の年齢・・・・・・ 歳

問4：あなたの就業形態は下記の何れに当たりますか。（1つに○）

1. 正社員 3. 契約社員 5. その他
2. パートタイム・アルバイト 4. 嘱託 ()

問5：あなたのお仕事は、下記の何れに当たりますか。近いものを選んでください。（1つに○）

1. 専門・技術職（研究、開発、設計、情報処理技術、編集、デザイナーなど）
2. 事務・営業職
3. 販売・対人サービス職
4. 生産・技能職
5. その他（ ）

問6：あなたは、現在の会社に勤めてから何年になりますか。（1つに○）

1. 1年未満 4. 10～20年未満 7. 40年以上
2. 1～5年未満 5. 20～30年未満
3. 5～10年未満 6. 30～40年未満

問7：あなたは、普段1週間におおよそ、合計何時間くらい仕事をしていますか（残業時間含む）。

残業も含めて、週 時間

うち、残業時間はどれくらいですか。・・・・ 時間

問8：あなたに課せられている業務量は1年前と比較してどう変化しましたか（1つに○）。

1. かなり増えた
2. やや増えた
3. ほとんど変わらない
4. やや減った
5. かなり減った

問9：あなたの職場では、年次有給休暇を取得しやすいですか（1つに○）。

1. 取りにくい
2. やや取りにくい
3. どちらともいえない
4. やや取りやすい
5. 取りやすい

問10：あなたの職場の人の定着の状況について、お教えてください（1つに○）。

1. 頻繁にやめる人がいる
2. 時々やめる人がいる
3. やめる人はほとんどいない

問11：あなたの職場（部、課など、所属部署）の現在の人手の過不足感をお教えてください（1つに○）。

1. かなり不足
2. やや不足
3. ちょうどよい
4. やや過剰
5. かなり過剰

問12：お勤めの会社について、あなたの総合的な満足度をお教えてください（1つに○）。

1. 大いに満足
2. やや満足
3. どちらともいえない
4. やや不満
5. 大いに不満

問13：あなたは、現在の会社に勤め続けたいと思いますか（1つに○）。

1. 勤め続けたい
2. どちらかと言えば勤め続けたい
3. どちらかと言えば勤め続けたくない
4. 勤め続けたくない

II. 福利厚生制度・施策について

問14：あなたは、現在の勤め先を選ぶときに、福利厚生制度の内容を重視しましたか。

（あてはまるもの1つに○）

1. 非常に重視した
2. ある程度は重視した
3. ほとんど考慮しなかった
4. まったく考慮しなかった

問15：あなたの会社の福利厚生制度・施策についておうかがいします。

次にあげる福利厚生制度・施策について、正社員の方（問4で「1正社員」を選択した方）は、「(1)制度・施策の有無」を、「1 ある」「2 ない」から選択して○をつけてください。そのうち、制度・施策が「1 ある」を選択したものについて、利用した経験があるときは「(2)利用の有無」欄に○をつけてください（あてはまるものすべてに○）。また、制度・施策の「ある」「ない」にかかわらず、あなたにとって特に必要性が高いと思われる制度・施策について、「(3)特に必用性が高いと思うもの」欄に○をつけてください（あてはまるものすべてに○）。

非正規従業員の方（問4で「2パート・アルバイト」「3契約社員」「4嘱託」「5その他」を選択した方）は、「(1) 施策の有無」では、ご自身が利用できると認識している福利厚生メニューについて「1（ある）」に○をつけ、そのうち利用したことのあるものについて「(2) 利用の有無」に○印をつけてください。「(3) 特に必要性が高いと思うもの」では、利用できる、できないに関わらず、特にあったらよいと思われる福利厚生メニューに○をつけてください。

		(1) 施策の有無		(2) 利用の有無	(3) 特に必用性 が高いと思 うもの
		ある	ない		
財産 形成	財形貯蓄制度	1	2		
	社内預金制度	1	2		
	従業員持株制度・持株会	1	2		
	ストックオプション制度	1	2		
	住宅取得のための融資制度	1	2		
	金融関係の相談・セミナー	1	2		
	教育、結婚等住宅以外の臨時支出に対する貸し付け	1	2		
食 事	食堂	1	2		
	食事手当	1	2		
	外部飲食店で利用できる食券等の配布	1	2		
健 康 管 理	診療所、健康管理センター等医療施設	1	2		
	メンタルヘルス相談	1	2		
	人間ドック受診の補助	1	2		
	運動施設の設置	1	2		
	運動施設・フィットネスクラブの利用補助	1	2		

		(1) 施策の有無		(2) 利用の有無	(3) 特に必要性 が高いと思 うもの
		ある	ない		
両立支援	法定を上回る育児休業・短時間制度	1	2		
	企業内保育施設や保育サービス（ベビーシッターなど）の提供	1	2		
	法定を上回る介護休業制度	1	2		
	介護のための施設やサービス（ヘルパーなど）の提供	1	2		
	治療と仕事の両立支援策	1	2		
休暇制度	病気休職制度	1	2		
	病気休暇制度（有給休暇以外）	1	2		
	リフレッシュ休暇制度	1	2		
	ボランティア休暇制度	1	2		
	慶弔休暇制度	1	2		
	有給休暇の日数の上乗せ（GW、夏期特別休暇など）	1	2		
自己啓発	社内での自己啓発プログラム	1	2		
	社外の自己啓発サービスの提供、経費補助	1	2		
	社外の自己啓発に関する情報提供	1	2		
	自己啓発のための休暇等の付与	1	2		
慶弔災害	慶弔見舞金制度	1	2		
	永年勤続表彰	1	2		
	遺族・遺児年金	1	2		
	労災補償給付の付加給付	1	2		

		(1) 施策の有無		(2) 利用の有無	(3) 特に必用性 が高いと思 うもの
		ある	ない		
住宅	世帯用住宅・寮の整備	1	2		
	家賃補助や住宅手当の支給	1	2		
余暇活動	保養施設、レクリエーション施設等の提供、利用補助	1	2		
	運動会等のレクリエーション活動の実施	1	2		
	社員旅行の実施、補助	1	2		
働き方	短時間勤務制度	1	2		
	フレックスタイム制度	1	2		
	テレワーク	1	2		
	ノー残業デー等の設置	1	2		
	時差出勤	1	2		
高齢者	退職前準備教育（セミナーなど）	1	2		
	定年退職後の医療保障	1	2		
	定年退職後の保養施設、レクリエーション施設の利用	1	2		
	OB会等定年退職後の親睦活動	1	2		

問16：中小企業勤労者福祉サービスセンターを知っていますか。（1つに○）

- 1 知っている⇒付問16-1へ 2 知らない⇒付問16-2へ

付問16-1：中小企業勤労者福祉サービスセンターの会員ですか。（1つに○）

福利厚生サービス団体の会員となっているが、同サービスセンターに該当するかわからないときは、「3. わからない」に○をつけてください。

1. 会員である（勤務先経由で加盟） 3. わからない
2. 会員である（個人で加盟） 4. 会員ではない

付問 16-2:「中小企業勤労者福祉サービスセンター」以外で、福利厚生サービスを受けるために個人会員となっている互助会、共済会、厚生会等がありますか。(1つに○)

- 1 加入している ⇒付問 17-3 へ 2 加入していない

付問 16-3:「1 加入している」と回答した方は、加入している互助会(共済会、厚生会等)の名称をお教えてください。複数ある場合は、すべてご記入ください。

名称:

問 17:あなたは会社の福利厚生制度に満足していますか(1つに○)。

1. 満足 2. やや満足 3. どちらともいえない 4. やや不満足 5. 不満足

問 18:「福利厚生を可能な限り抑制し、その分を賃金の原資に充てていきたい/充ててほしい」という意見についてあてはまるもの1つに○をつけてください。

1. そう思う 2. まあそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

問 19:福利厚生制度・施策について、従業員、企業、国はどのように関わっていくべきだと思いますか。

福利厚生制度・施策ごとに、従業員、企業、国のうち、主にどこが担うべきだと思うか、お教えてください。(あてはまるもの1つに○)

		従業員が自助 努力すべき	企業が支援 すべき	国が支援 すべき
財産形成 (財形貯蓄制度、社内預金制度、従業員持株制度、ストックオプション制度、教育、結婚等住宅以外の臨時支出に対する貸し付け等)	⇒	1	2	3
食事 (食堂、食事手当、外部飲食店で利用できる食券の配布等)	⇒	1	2	3
健康管理 (診療所、健康管理センター等医療施設、メンタルヘルス相談、人間ドック受診の補助、運動施設の設置・利用補助等)	⇒	1	2	3
両立支援 (法定を上回る育児休業・短時間制度、企業内保育施設やサービスの提供、法定を上回る介護休業制度、介護のための施設やサービスの提供、治療と仕事の両立支援策等)	⇒	1	2	3
休暇制度 (病気休職、病気休暇制度、リフレッシュ休暇制度、ボランティア休暇制度、慶弔休暇制度、GW・夏期などの特別休暇等)	⇒	1	2	3
自己啓発 (社内の自己啓発プログラム、社外の自己啓発サービスの提供、経費補助、自己啓発のための休暇等の付与等)	⇒	1	2	3

		従業員が自助 努力すべき	企業が支援 すべき	国が支援 すべき
慶弔災害 (慶弔見舞金制度、永年勤続表彰、遺族・遺児年金、労災補償給付の付加給付等)	⇒	1	2	3
住宅 (世帯用住宅・寮の整備、家賃の補助や住宅手当の支給等)	⇒	1	2	3
余暇活動 (保養施設、レクリエーション施設等の提供、利用補助、運動会等レクリエーション活動の実施、社員旅行の実施、補助等)	⇒	1	2	3
働き方 (短時間勤務制度、フレックス制度、テレワーク、ノー残業デー等の設置、時差出勤等)	⇒	1	2	3
高齢者 (退職前準備教育、定年退職後の医療保障、定年退職後の保養施設、レクリエーション施設の利用、OB会等定年退職後の親睦活動等)	⇒	1	2	3

次の問20、問21については、【正社員の方】(問4の雇用形態について、「1. 正社員」を選択した方)のみ、お答えください。

問20：あなたの会社は福利厚生について、カフェテリアプランを導入していますか。(1つに○)

※カフェテリアプランとは、対象者に対して所定の福利厚生予算をポイントなどで付与し、対象者は所定期間内に利用したい福利厚生メニューを選択し、ポイントを消化して利用するものです。

1. 導入している 2. 導入していない 3. わからない

問21：過去3年間で、あなたの福利厚生サービスの利用頻度はどのように変化しましたか。(1つに○)

1. 増えた 2. やや増えた 3. どちらともいえない 4. やや減った 5. 減った

↓

付問21-1：「1.増えた」「2.やや増えた」とお答えの方は、その理由について、最も当てはまるもの1つに○をつけてください。

1. ライフステージの変化(結婚、出産、子の入学など)
2. 簡単に利用できるようになった(WE Bの利用など、手続きの簡素化)
3. メニューが増えてニーズに合うようになった(カフェテリアプランの導入など)
4. 積極的な情報提供で福利厚生メニューをよく知ることができた(メール等による利用案内等)
5. 特段の理由はない

質問は以上です。長時間にわたり、ご記入ありがとうございました